

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------|-----|-------------|
| ○事業所名 | 通所支援事業所 s u m i r e | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年1月10日 | | ～ 令和7年1月24日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 10名 | (回答者数) 8名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年1月10日 | | ～ 令和7年1月24日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5名 | (回答者数) 5名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月4日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 活動エリアが構造化されていて、利用者にわかりやすい空間になっている。スケジュールを活用し、見とおしを伝えている。 | 活動がルーティン化しないように変化を取り入れる。多目的に使うエリアでの活動の幅を広げる。 | スタッフの資質の向上を図るために、研修を受講する機会や事業所内研修の機会を確保する。 |
| 2 | アセスメントから始めてスモールステップで成功体験につながる支援をしている。 | 支援計画は保護者のニーズを基に事業所でのアセスメントと関係機関のニーズと学齢を基に具体的な内容を設定している。項目ごとに達成を目標に計画に沿った支援をしている。 | スタッフの資質の向上を図るために、研修を受講する機会や事業所内研修の機会を確保する。 |
| 3 | 家族や子ども園と連携をとりニーズや支援内容の情報共有と相互理解を図っている。 | 日々の活動内容をSNSで発信している。支援計画の見直し時に保護者ニーズを書面でもらい、子ども園を訪問し情報を共有している。 | 家族に対しペアレントトレーニングや研修会の情報提供をしていく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|-------------------|--|
| 1 | 保護者どうしの交流の場がない。 | まだ保護者会を開催していない。 | 開催日時、場所、内容等を決める際、保護者の意向をきいてひとりでも多く参加できるように諮らう。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |